

「楽しく安全に科学に親しもう！」 本城小学校科学・おもちゃクラブ

市民の ひろば

3

March



砂糖と水の割合に気を付けながら

加工して作ったキーホルダーなど、理科の実験ではやらないようなものを扱うことができるので、皆クラブの時間を待ち遠しく感じています。

クラブでの活動を楽しいものにするため、わたしたちは一人ひとりが安全な実験を心掛けています。熱した液体や刺激物などを使った工作をすることもありますが、それらを使用するときは皆で注意し合い、機材の使い方などをしっかりと確認した上で作業に臨んでいます。

今回は、べつこうあめ作りに挑戦しましたが、砂糖と水の量のバランスをとることが意外に難しく、思った通りにあめ作りを進めていくことの大変さを感じました。こういった作業を通して、物を作ることの難

わたしたち本城小学校科学・おもちゃクラブは、6年生7人、5年生3人、4年生2人の計12人で、月に1・2回、理科室や家庭科室で活動しています。スライムや、プラ板を

しや楽しさを肌で感じられることが、このクラブの良さだと思います。

次回のクラブ活動では、葉脈を使ったしおりを作る予定です。3学期のクラブ活動はこれで最後になるので、皆で協力し合って思い出に残るような作品を仕上げたいです。



曾我 巧さん(6年生)

「友達同士でアイデアを出し合い、工夫しながら作業を進めていくことがとても楽しいです」



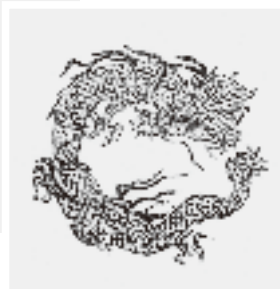
徐々にあめ色になっていく溶液を注意深く観察

楽篆会(篆刻)

方寸の中に宇宙を宿す

わたしたちは、毎月第1・3土曜日に久住公民館で篆刻制作をしているサークルです。公民館教室の参加者同士で「もっと教わりたい」と4年前に活動を始めました。指導は、この道20年の飯田俊六郎先生にお願いしています。

秦の始皇帝が統一した「小篆」という書体を印に彫ったことから生まれたのが篆刻。日本には江戸時代に伝わり、文人趣味として流行しました。現在では、小篆だけでなくほかの書体や絵柄など



作品：懐古情深と飛龍



手彫りの印は年賀状にもお勧めですよ

も広く親しまれています。

印を作るには、文字を反転させて刻む必要があります。もちろん鏡に映してみたり、実際に押してみたりして仕上がり具合は確認できますが、細かい作業の連続なので失敗は付き物です。ただ、それが思わぬ味わいを生むこともあり、機械彫りにはない手彫りの良さともいえます。わざと字形の一部を崩したり印の縁を欠くという手法もあり、表現の追求には限りがありません。

その奥深さのゆえ、篆刻は「方寸の中に宇宙を宿す」といわれています。古い成語(熟語)を刻み歴史や文化の一端にふれる、自作の雅印で書や絵手紙を飾る―楽しみ方もいろいろです。皆さんも二つとない自分だけの印を彫り上げてみませんか。

ペット大好き

117



岩淵 和枝さん(吾妻)
アロー(オス)

名前は頭の毛色が弓矢のように見えることから名付けました。自分を犬だと思っていない(?)らしく、犬にはあまり興味を示さず人間に興味津々のアロー。ちょっぴり人見知りのシャイな子です。



高橋 航世ちゃん(並木町)

こんにちは赤ちゃん

136



中澤 涼ちゃん(橋賀台)

スクスクのびのび

341

窪田 理名ちゃん(6歳・後左)
石和田 麻衣ちゃん(6歳・後右)
伊藤 弥桜ちゃん(5歳・前左)
田浦 駿介くん(5歳・前中)
松永 沙月ちゃん(5歳・前右)

加良部

みんな同じ幼稚園のお友達なんだ。今日はお母さんたちも一緒に公園でお弁当を食べて、長縄跳びして遊んだよ。声をそろえて「いーち、にーの、さーん!」続けて何回跳べるかな?

